

＜観光・文化検討部会の活動＞

1 設置日

平成28(2016)年3月28日

2 部会員

(令和3年12月8日時点、敬称略)

団体名・役職	氏名	団体名・役職	氏名
<部会長> 中央区観光協会理事	工藤 哲夫	中央区商店街連合会会長	柴川 賢
<副部会長> 東京商工会議所中央支部	岡本 圭祐	中央区工業団体連合会企画委員会委員長	永井 博
NPO法人築地食のまちづくり協議会事務局長	鹿川 賢吾	全銀座会G2020事務局	永井 真未
中央区文化振興プロデュースチーム	竹沢 えり子	晴海トリスティア統一管理者株式会社晴海コーポレーション総務部長	秋友 一美
中央区古典芸能の会	花柳 寿美藏	日本橋問屋街活性化委員会広報委員会委員長	細谷 昌宏
日本橋地域ネットワーク100年計画委員会	鹿島 彰		

計11名、ほかワザバ-2名、事務局3名

3 開催回数

全14回(平成28(2016)年3月28日～令和3(2021)年12月8日)

※うち4回がボランティア検討部会との合同開催

4 検討内容

- ・中央区多言語表記指針案
- ・折り鶴ウェブ実施案(※)
- ・おもてなしTシャツデザイン案(※)
- ・中央区おもてなしセンター名称案(※)
- ・おもてなしロゴ案(※)

※ボランティア検討部会と合同で検討

5 部会最終回における振り返り

(主な内容)

- ・コロナ禍により、大会期間中のイベントなどは中止を余儀なくされたが、大会に向けて各団体で地域の魅力向上や情報発信を進めてきたことは、今後につながる
- ・これまでの取組の過程で得られたノウハウや連携体制などの蓄積を、今後活かしていく必要がある
- ・(両部会共通)検討部会は、地域の各分野の代表者が集まり、同じ目的を共有し検討を重ねてきた貴重な場だったため、今後もこのつながりを継続・発展させていけるとよい

部会の活動を終えて

＜継承する地域レガシー＞

- 外国人観光客の訪日が本格的に回復する時機に向けて、各団体においても、これまで積み重ねてきた取組を更に発展させていく
- (両部会共通) 今後、分野をまたぎ横断的な協議が必要になった際、区民協議会や検討部会で構築された地域の連携体制を活用していく